**（様式１）**

**スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート**

**[団体名：　　　　　　　　　　]**

**[記載日：　　　　　　　　　　]**

**【対応状況に係る自己評価】**

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 対応状況 |
| **原則１ 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。** |
| (1) 法人格を有する団体は，団体に適用される法令を遵守しているか。 | － |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）※任意団体の場合は記入不要（非該当）〈例〉○ＮＰＯ法人の場合････「特定非営利活動促進法」を遵守している。○一般社団法人の場合････「一般社団法人に関する法律」を遵守している。 |
| (2) 法人格を有しない団体は，団体としての実体を備え，団体の規約等を遵守しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）※法人格を有する団体は記入不要（非該当）〈例〉○規約を定めている場合・団体としての権利義務関係を明確化するため、規約を定め、次のとおりそれを遵守している。・多数決の原理で物事を決定している。・団体の構成員に変更があったとしても団体が存続し、代表の決定方法や財産の管理等の団体としての主要な事項を確定させることができる。・個人の私的な口座で財産の管理・運営を行うのではなく、団体活動のための専用の口座を用い、財産を分別して管理・運営している。○規約を定めていない場合・現時点では団体としての規約を定めず、必要に応じて役員が協議して物事を決定しているが、今後、団体の役員間で協議し、令和○年度に団体としての権利義務を明確化するための規約を整備する。当該規約の整備に当たっては、市町村スポーツ協会の定款等を参考にする。 |
| (3) 事業運営に当たって適用される法令等を遵守しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）・公共施設を利用して大会やイベントを開催する際には、当該施設の使用に係る規則や当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守している。 |
| (4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）〈例〉○体制を整備している場合・役員が団体の構成員に対して、定期的に決算や事業報告を行っている。・会報を発行し、定期的に団体の運営状況を団体の構成員に報告している。○体制が整備されていない場合・現時点では団体としての規約が整備されていないため、令和○年度までに整備の上、役員が団体の構成員に対して、定期的に決算及び事業報告を行うこととする。 |
| **原則2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。** |
| (1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）〈例〉○策定している場合・団体として目指すべき基本方針（ミッション、ビジョン）を策定し、団体のホームページで公表している。○策定していない場合・現時点では策定されていないが、令和○年度までに策定の上公表する。策定に当たっては団体の構成員を広く参画させる。 |
| **原則3** **暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。** |
| (1) 役職員に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）〈例〉○実施している場合・年に１回、役員、スタッフを対象に、暴力行為やハラスメント行為等防止のためのコンプライアンス研修を行っている。・役員、スタッフは、年に１回、中央競技団体等が開催するコンプライアンス研修会に参加している。○実施していない場合・現時点ではコンプライアンス教育は実施できていないが、令和○年度からは年に１回、役員、スタッフを対象とした研修会を開催する。 |
| (2) 指導者，競技者等に対し，コンプライアンス教育を実施しているか，又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）〈例〉○実施している場合・年に１回、指導者を対象に、暴力行為やハラスメント行為等防止のためのコンプライアンス研修を行っている。・指導者は、年に１回、ＮＦ等が開催するコンプライアンス研修会に参加している。○実施していない場合・現時点ではコンプライアンス教育は実施できていないが、令和○年度からは年に１回、指導者を対象とした研修会を開催する。 |
| **原則４ 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。** |
| (1) 財務・経理の処理を適切に行い，公正な会計原則を遵守しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）○団体の規約に会計処理規程がある場合・団体の会計処理が適切に行われるよう、団体の規約に必要な事項を定めている。○団体の規約に会計処理規程がない場合・現時点では団体の会計処理規程がないため、令和○年度末までには策定することとする。 |
| (2) 国庫補助金等の利用に関し，適正な使用のために求められる法令，ガイドライン等を遵守しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）・県から補助金を受ける際には、県が定める県補助金規則を遵守している。 |
| (3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）○体制を整備している場合・団体の規約に基づき、監事による監査を行うともに、総会等において前年度決算について承認を受けている。○体制が整備されていない場合・現時点では団体の規約に監査体制に関する定めがないため、令和○年度末までには定めることとする。 |
| **原則５ 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。** |
| (1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。 | － |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）※任意団体の場合は、記入不要（非該当）。○団体の前年度の財務諸表を団体ホームページにおいて公表している。 |
| (2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。 | Ａ |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等）・次の書類を団体ホームページにおいて、公表している。1. 事業報告、②決算報告、③事業計画、④収支予算、⑤役員名簿、⑥国体代表選手基準、

⑦ガバナンスコードの遵守状況 |
| **原則6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合，ガバナンスコード＜NF向け＞の個別の規定についても，その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。** |
| 自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード＜NF向け＞の規定があるか（ある場合は下欄に記述） |
| 原則■について | － |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） |
| 原則■について | － |
| （現在の取組状況，今後改善に取り組む事項等） |